

平成 29 年度 沖縄県文化観光スポーツ部観光整備課指定管理者制度運用委員会

- 1 開催日時：平成 29 年 8 月 18 日（金）13:00～15:00
- 2 開催場所：沖縄県庁 9 階文化観光スポーツ部会議室
- 3 議 題：平成 28 年度指定管理モニタリング実施結果の検証について
 - (1) 沖縄コンベンションセンター
 - (2) 万国津梁館
- 4 委員出席状況：委員 4 名中、4 名出席
 - ①琉球大学観光産業科学部 講師 宮国 薫子
 - ②一般社団法人沖縄県中小企業診断士協会 顧問 大城 定理
 - ③浦添商工会議所総務部結いの街事業推進課 課長 新垣 直美
 - ④学校法人 KBC 学園 理事 稲垣 純一
- 5 検証内容：
 - (1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切になされているか。
 - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか。
 - (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか。
- 6 委員からの意見等
 - (1) 沖縄コンベンションセンター
 - ①維持管理について
 - ・大規模な修繕については、施設利用者に影響がでないよう引き続き計画的な対応が求められる。
 - ・小規模な修繕に関しては、県と指定管理者が連携を密にし、事故等が起こらないように努めること。
 - ・植栽等は、枯れたものを植え替えるだけでなく、更なる環境向上に向けて計画的に増やしていく必要がある。
 - ②防犯・防災対策について
 - ・防犯・防災訓練には、出来る限り全職員が参加することが望ましい。
 - ③営業活動について
 - ・リピーター獲得のため、顧客管理やアフターフォローなど、積極的な営業活動に努めること。また、営業記録はしっかりと管理し、今後のデータとして蓄積させること。

④閑散期対策について

- ・宿泊料が高く予約の取りにくい夏場の閑散期は、県内向けの催事を誘致し、月毎の利用者傾向の分析や柔軟な料金設定の検討など、閑散期対策を行うこと。

⑤自主事業について

- ・自主事業は更に活発に行った方が良い。特に、閑散期対策として自主事業を有効活用してほしい。

⑥アンケートについて

- ・アンケートの回収率が為、アンケート回収率の向上に努めること。
- ・アンケートは、内容を細かくとり、しっかりとフォローアップすること。

⑦その他

- ・これまでのモニタリング検証結果を踏まえ、施設利用者の満足度向上に積極的に取り組まれており評価できる。

(2) 万国津梁館

①国際会議誘致について

- ・国際会議の開催件数が、前年度に比べて大幅に減っているため、県・沖縄コンベンションビューローと連携し、海外向けのプロモーション活動を強化すること。

②防犯・防災対策について

- ・部瀬名岬地区全体で、防犯・防災対策に取り組んでおり、大変評価できる。
- ・防犯・防災訓練には、出来る限り全職員が参加することが望ましい。

③事業収支について

- ・事業収支は良好である。コストカットがしっかりとできており、大変評価できる。

④営業活動について

- ・宿泊費や航空運賃等が高騰する夏場の閑散期については、県内向けの催事を誘致するなど、閑散期対策を行うこと。
- ・サミット開催地のブランド力を、最大限に活かしてほしい。特に県民の万国津梁館に対する認知度が低いため、県と協力し広報周知活動を行ってほしい。

⑤人材育成について

- ・ホテル事業者として培ってきたノウハウを活かした研修カリキュラムを、実施しており、大変評価できる。今後も継続した人材育成に取り組むこと。

⑥アンケートについて

- ・アンケートの回収は難しい中、決め細かなアンケート項目でこれだけ回収していることは評価できる。貴重なデータとなっているので、今後も継続して取り組むこと。

⑦自主事業について

- ・ウェディング事業の件数が下がってきているので、競合に負けないよう努めること。